

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：ツネイシグリーンエナジー（株）
共同事務局：（株）YMFG ZONEプランニング、
神石高原町
活動地域：広島県神石郡神石高原町

活動団体紹介

◎ツネイシグリーンエナジー株式会社(申請主体)

- 当事業の事務局であるツネイシグリーンエナジー(株)は、常石グループの一企業として、再生可能エネルギー発電事業等を担う会社として発足しました。
- 常石グループは海運・造船から始まり、現在では、環境、エネルギー、農業、建設など地域社会に貢献するさまざまな事業を国内外へ展開しており、神石高原町ではライフ&リゾート関連を中心に事業展開しています。
- 現在、ツネイシグリーンエナジーは神石高原町と協力体制を構築し、バイオマス発電事業や小水力発電事業を計画しています。



神石高原町(共同事務局)

- 神石高原町は人口約8,600人(2021年5月現在)で、農作物に好適な環境が揃い、特産品が豊富な町です。
- 一方で、全国の自治体と同様に人口減少が課題であり、農業を生業としながら、持続可能な農林業・商工業の振興に努めています。
- 神石高原町役場も事務局の一員として、町内の様々な関係者、町との連携協定を締結している様々な団体・企業の巻き込みなど、多様な面で協働していきます。



株式会社YMFG ZONEプランニング(共同事務局)

- 地域金融機関の山口フィナンシャルグループのグループ会社であり、地方創生・地域活性化コンサルティングにおいて中央省庁・自治体からの豊富な受託実績を有しています。
- 地域における新たな経済循環の創出に向けた検討、地域ネットワーク構築の支援等を通じて、共同事務局として地域循環共生圏(ローカルSDGs)の形成に向けたサポートを行います。



ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

未利用林の活用による新たな経済循環の創出、環境保全の好循環による持続可能な地域の構築

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

- ・人口減少が顕著な地域
- ・間伐等の手入れ不足の森林増加とそれに関連した土砂流出などの災害防止
- ・地域の林業事業者の減少、農業の担い手・後継者の確保
- ・防災体制の整備、魅力ある生活拠点の維持
- ・地域コミュニティを支える人材不足
- ・地域の林業および農業の重要産業化および域外からの所得向上 等

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

- ・町面積の約8割を占める山林
- ・未利用材活用によるバイオマス発電から得られる“排熱”及び“バイオ炭”
- ・豊かな自然と地域の多様な関係者

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

- ・新たな森林活用需要創出モデル構築及び地域主要産業への理解の促進
- ・排熱及びバイオ炭の活用による新たな地域産業・経済循環の創出及び循環型環境保全モデルの構築
- ・豊かな自然環境の活用・保全による地域振興及び教育・防災等の地域における暮らしへの有効活用

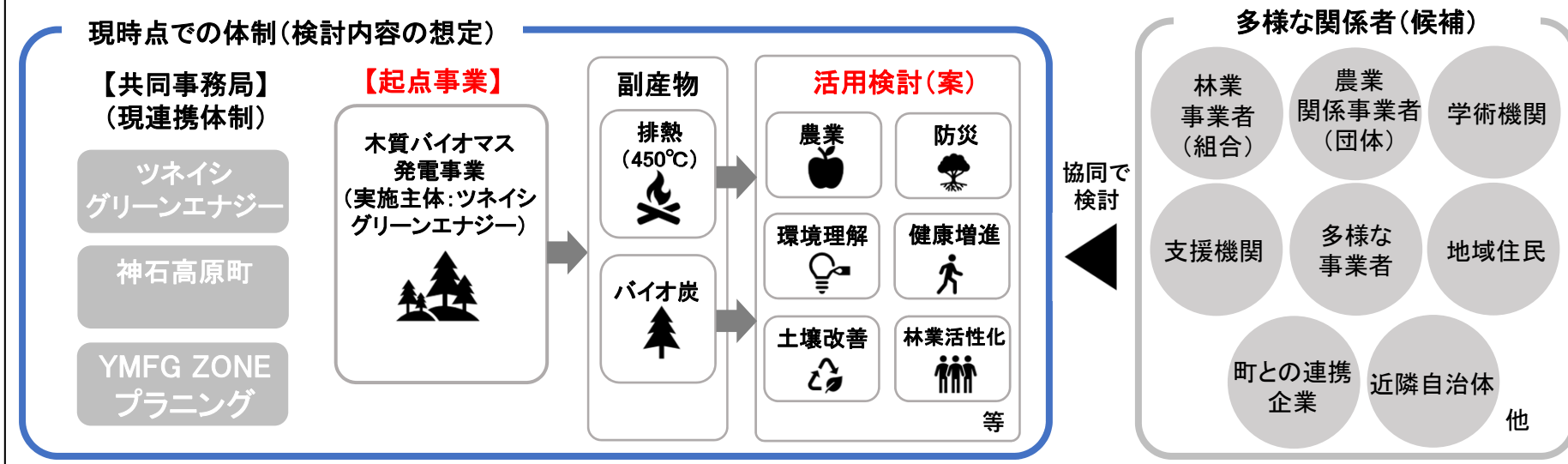
成果（取組によって出したい成果）

- ・山林の土壌改善等の環境保全への動き
- ・バイオマス発電事業による安定的な森林活用の需要増加。発生する副産物の活用による農業等の新たな経済循環の創出、担い手（働き手）需要の喚起。
- ・地域の環境・経済循環に目を向け、検討していく機会創出。地域の自然環境を題材とした防災、自然を舞台にした新たなコンテンツ開発、持続可能な地域に向けた学びの場等の構築

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

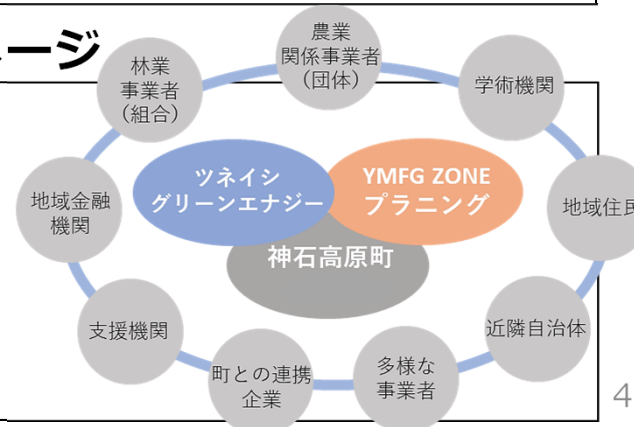
現時点での体制

- ・当社、神石高原町、YMFG ZONEプランニングの3者がプラットフォーム運営主体として地域プラットフォームの形成を進めていきます。
- ・当社が検討している、地域の森林資源（未利用林）を活用した木質バイオマス事業を起点として、そこから発生する副産物（“排熱（約450℃）”、“バイオ炭”）等を活用した“新たな経済循環の創出”及び“資源循環を通じた環境保全などの持続可能な地域づくり”等の検討を多様な関係者を巻き込み、進めていきます。



環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

- ・地域の豊富な森林・自然資源の活用及び新たな経済循環の構築に向けて、地域のNPO、移住者、その他地域金融機関など、随時多様なプレーヤーを柔軟に巻き込みながら、地域の現状やSDGsについての理解の促進や各事業テーマに基づく検討会・ワークショップの開催を通して、各主体間の相互のつながりを形成し、実効的な地域資源を活用した新たな経済循環及び地域環境保全モデルを構築できる場としていきます。



年間スケジュール（参考資料）

